

農村生活体験で、今こそ心の交流を！近江商人の「三方よし」の教えにならない、教育旅行ホームステイに取り組む

◆ 一般社団法人 近江日野交流ネットワーク(日野町)

「近江日野田舎体験」は、近江商人の「三方よし」の教えにならない、日野町全体で取り組んでいる教育旅行ホームステイです。

日野町にある豊かな自然、農林商工業、日常の暮らしなどの体験と、ホストファミリー（受入家庭）との交流は、体験者である子どもたちに人の生き様や地域の誇りを伝える人間教育と考え、「共通体験を通じた交流」を最大の目的に子どもたちの受入を行っています。

「近江日野田舎体験」の特色 心の交流を通じた、心豊かな人づくり

近江商人の“売り手よし 買い手よし 世間よし”の「三方よし」の教えに倣い、「迎えるもの（売り手）に自身と誇りの回復を、訪れる人々（買い手）に心からの感動を、地域(世間)に人的活性化を」を合言葉に活動を実施。来訪者には、ありのままの近江日野での体験を通して、人と人との関わり大切さ、真の豊かさとは何かを伝えたいと考えています。来訪者と受入側との「心の交流」が、都会と農山漁村（ふるさと）双方の心豊かな地域づくり、人づくりにつながることを願っています。



“ほんもの”の体験がたくさん！ 受入家庭が考える多様な体験プログラム

「近江日野田舎体験」で実施する農村生活体験は、ホストファミリー(受入家庭)の日常の暮らしそのままを体験できる「家業おまかせプラン」です。内容は、田んぼの作業(田植え・苗箱洗い・草刈・稲刈等)や、畑の作業(耕起・草取り・野菜苗植え・支柱たて・片付け等)、物づくり(竹細工・草履作り・割り木作業、郷土料理体験等)など多種多様。日野町の暮らしそのものの体験が用意されています。



(一社)近江日野交流ネットワーク を中心とした安心・安全な受入体制を整備

(一社)近江日野交流ネットワークが中心となり、団体等との調整、受入地域の教育研修や受入後のフォローなどを行っています。安心・安全な体験を提供するため、理念、衛生、救命救急、体験プログラムスキルアップ等の研修を年間40回程度実施し、事故や怪我の未然防止のための努力を日々重ねています。

